

〈テーマ〉「学力向上に向けた5つの提言」を自校化した取組

(角田市立金津中学校)

学力向上に向けた「5つの提言⁺」

本校では、「学力向上に関する緊急会議からの5つの提言」に具体的な方法などを加えて実践化し、授業改善に取り組んでいます。

1 どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けよう。

どの子供にも一日一回は声を掛け、子供の話をじっくり聞くことが、心のケアや人間関係づくりにつながります。

+「どの子も掛け替えのない大切な生徒」と自分に言い聞かせて

2 子供をほめよう、認めよう。

子供は、ほめられると集中力が高まります。授業中にほめたり認めたりすることは、学習評価のひとつです。

+ 勇気付けの言葉を笑顔と共に

3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けよう。

本時のねらいをより具体的に設定し、1単位時間で育てる力を明確にします。授業の終末には、子供の学びを的確に把握し後の指導に生かすようにしましょう。

+ 50分後の生徒の姿を一言で

+ まとめ・振り返りで学習内容の定着を

4 自分の考えをノートにしっかり書かせよう。

黒板を書き写すだけでなく、自分の考えをノートに書くように指導します。書くことは、思考力、表現力を育てます。ワークシートではなく、ノートづくりを徹底しましょう。

+ 全員参加の授業づくり

+ 活動する場面、考える場面、交流する場面の設定を

5 家庭学習の時間を確保しよう。

学校で学んだことを家庭で復習することは、知識や技能の定着につながります。予習は、授業での理解を早めます。各学校で作成している「家庭学習の手引き」の中に、家庭学習のメニューを具体的に記載するとともに、適度な量の宿題を課しながら家庭学習を習慣づけましょう。また、保護者には、子供に声を掛けたり子供を認めたりすることが、家庭学習への意欲づけになることを伝えましょう。また、各学校で作成している「家庭学習の手引き」の中に、家庭学習のメニューを具体的に記載するとともに、適度な量の宿題を課しながら家庭学習を習慣づけましょう。

+ 家庭学習時間を計画させて

+ 学び方を身に付けさせて

+ 過去問、フォローアップシート、単元ライブラリーの活用を